

## 式 辞 令和六年度 入学式

鹿島をわたる潮風はあたたかく、桜咲き誇る春爛漫の今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様に御臨席いただき、令和六年度愛媛県立北条高等学校入学式を挙行し、七十名の新入生を迎えることができますことを、本当にうれしく有り難く思っております。

ただ今入学を許可された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、私たち教職員全員、心から歓迎しています。ようこそ北条高等学校へ。

そして、高校生になったお子様を、今日の日まで、愛情をこめて育て、日々支えてこられた保護者の皆様、関係の方々に、衷心よりお慶びを申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、この学校でどんな自分になりたいと思っておりますか。この学校で何を経験したいと思っておりますか。今日からすぐにやり始めたいこと、三年を掛けて成し遂げたいこと、皆さん一人一人にそれぞれの思いや期待があることと思っております。今日は、皆さんの高校生活のスタートラインの日です。いいスタートの日にしてほしいと心から願っています。

しかしながら、人生や世の中には、うまくいくことも、うまくいかないこともあります。スタートラインでうまくいかないことがあると、落ち込んだり、後悔したり、元気がなくなったり、申し訳ない気持ちになったりすることがあるかもしれません。それでも、周りの人に支えられたり、励まされたり、自分の中の勇気をふりしぼったりして、もう一度スタートラインに立つために顔を上げることができればいいのだと思います。もう一度スタートすることを、リスタートと言います。私は、北条高校を、リスタートを何度でもできる学校にしたいと考えています。リスタートできるということは、失敗をたくさんすることができるということでもあります。学校は、意味のある失敗や意志のある失敗をたくさん経験する場所だと私は考えています。私は、生徒の皆さんのリスタートを全力で応援したいと思っております。

また、私は、皆さんに、この学校で次のことを経験してほしいとも思っております。自分で決めて、自分で行動して、その結果を自分で引き受けること。このことを、北条高校でたくさん経験してほしいと願っています。

新入生の皆さんが、自立していくこと、すなわち、自分で決めて、自分で行動して、その結果を自分で引き受けることを、私たち教職員は全力で応援し、支援することをお約束します。保護者の皆様には、お子様の成長と自立のために、互いに信頼し合い、力を合わせて支え合うチームメイトとして、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

本校は、昭和二十二年の創立以来、七十六年の歴史を紡いでまいりました。そして、二年後の令和八年度春に、北条高等学校のあるこの場所この校舎に、北条清新高等学校という愛媛に今までなかった新しい学校が開校します。令和六年度入学の新入生の皆さんは、北条高等学校から北条清新高等学校へと学びのバトンをつなぐ、重要な節目に巡り合った年次です。その意味を胸に抱きながら、北条高等学校で成長してほしいと願っています。そして、三年後の自分、将来の自分がやりたいこと、行きたい場所、叶えたい夢に、一步一步近づいていってくれることを期待しています。

終わりに、御臨席の保護者の皆様、PTAの皆様、そして同窓会の皆様、地域の皆様に対しまして、改めて本校の教育に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日、北条高校生としての新しいスタートラインに立った新入生の皆さんの前途を祝し、式辞といたします。

令和六年四月八日

愛媛県立北条高等学校 校長 渡邊 俊